

# ぴぼっと通信

発行日：2026. 2. 20 VOL275

発行者：今関 和美 編集：奥内



2月4日は暦の上では「立春」といい「春の訪れ」を感じる季節とのことですが、厳しい寒さが続く中、なかなか実感として感じにくいものです。そもそも日本の暦は「太陽の動き」を基準に作れているので「立春」は「春の始まり」の記念日のようなものだそうです。ですから体感的に「春の訪れ」を感じとれるのは、平均気温が10℃を超える3月中旬から

下旬あたりだそうで、今しばらくは、寒さを我慢する時期が続くと思われます。インフルエンザも猛威を振るっております。くれぐれもご自愛くださいませ。

また気象庁によりますと、今年の花粉症は、通年の1.5倍とのことで今から覚悟しておいた方が良いでしょう。(奥内)

今月の  
ぴぼっと  
通信は..

①誰ひとり取り残されないまちづくり

②映画「道草」<sup>みちくさ</sup> 映画上映会

③4月1日(水)キリスト教社会館 全体会議について



①誰ひとり取り残されないまちづくり

開催日：2026年2月28日(土) 開催時間：14:00~16:00

開催場所：名古屋市区役所 2階 講堂

住所：名古屋市南区前浜通3-10

13:00 開場 ひまわり横丁 販売開始  
14:00 開会 基調講演  
16:00 閉会

ひまわり横丁では障害を持つ方が作られた「授産製品」を発売しています。良ければ手にとってご覧ください

「だれひとり取り残されない」ってどういうこと？

一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事 **玉木幸則氏**をゲストに迎え、年齢も障害も関係ない「ともに生きる」まちづくりをわかりやすくお話します。

昨今の政治情勢を鑑みるに「自国ファースト」と利益を追求するあまり、周りのことがみえなくなっているのではないでしょうか。私たちの生活は、ともすれば自分一人のことで精一杯で、周りへの関心は薄れがちですが、誰でもひとりで生きてくことはできません。この機会に、一人ではなく、周りの人たちと共生する想像してもいいのではないのでしょうか



## ② 「道草」映画上映会

～この街で暮らす～2018 年作

監督：穴戸 大祐

開催日：2026年3月3日（火）

開催時間：17:00～(95分)

開催場所：南区障害者基幹相談支援センター

入場料：無料 先着 20 名となっております。ご希望の方は、QR コードよりお申込み下さい。※飲食等、各自ご持参頂けます。

知的障害者の方々の暮らしを描いたドキュメンタリー映画です。観る人によって見え方が変わる映画かもしれません。

なかまの家族が観ると家族の苦悩や葛藤、でも日々の暮らしから楽しみや癒しが伝わってきます。家族は「ちょちょちょ」と止めながらも寄り添って同じ目線で動かれています。

なかまと関わっている人たちは、なかまと同じ目線で動いていることに当たり前のことだけれど寄り添っていく姿に魅力を感じるのではないのでしょうか。

当事者の姿も描かれています。津久井やまゆり学園で大きな傷を負った方。始めは、お母さんの作った大好きなおにぎりも食べられません。それでも少しずつ、寄り添って時間の経過とともに、家族や支援者との関わりから一人暮らしへと向かっている姿が描かれています。それこそ散歩しながらゆっくり道草をしながら、人との関わりが込み込んでいくようです。

短い文章では、この映画の魅力を伝えられません。今回は席数が少ないので観られないかもしれませんが、また機会があれば観て欲しい作品です（奥内）



## ③4月1日（水）キリスト教社会館 全体会議について

2026年4月1日（水曜日）はキリスト教社会館 職員全体会議のため、職員が支援に入るのが難しくなります。

4月1日の支援のご依頼につきましては、ご希望に添えない場合も出てくると思います。ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力お願いいたします。



## 連絡先

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 生活支援センターぴぽっと

住所：〒457-0804 南区源兵衛町5-18-10

電話：052-613-1306

FAX：052-746-0873

緊急連絡先：090-7865-8518

(pibbot-1225.ncs@docomo.ne.jp)